

令和3年度 管理業務主任者試験解答速報 【12/14版】

問1	1	問11	1	問21	3	問31	3	問41	3
問2	3	問12	2	問22	2	問32	1	問42	1
問3	4	問13	4	問23	4	問33	2	問43	2
問4	3	問14	1	問24	3	問34	4	問44	1
問5	4	問15	1	問25	2	問35	3	問45	1
問6	1	問16	1	問26	4	問36	2	問46	2
問7	2	問17	3	問27	4	問37	3	問47	3
問8	2	問18	4	問28	2	問38	2	問48	4
問9	1	問19	3	問29	2	問39	2	問49	3
問10	2	問20	1	問30	2	問40	2	問50	3

※後日情報を更新する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは34点前後です。あくまでもTAC独自の予想であり、合格を保証するものではありません。本予想ラインは変更の可能性もございます。あらかじめご了承ください。

TAC 管理業務主任者講座

令和3年度管理業務主任者試験講評

（本試験所感）

問題全体の難易度は、昨年度と同様、ひっかけ問題、個数問題（昨年より5問増え12問）や組合せ問題（昨年と同様）があったものの、解答を出しやすい問題が多かった。その反面、「景観法」や「賃貸住宅管理法」など、はじめて出題された法令も散見された。

今年度も、いかに過去問題の論点を把握し、同様論点の繰り返し問題から1点でも正解につなげ、得点を伸ばせたかが、合否を分ける要因となったのではないかと。

（民法・区分）

今年、民法からは5問出題された。債権者代位権や連帯債務といった、過去問であまり出題されていない分野からも出題されたが、他は基本事項を問う問題だった。

区分所有法は、標準管理規約との複合問題や建替えに関する問題等、解答しにくい問題もあった。

民法・区分所有法全体としては、昨年より難しかったと思われる。建替え等円滑化法は今年も出題されなかった。

（規約・会計）

標準管理規約や標準管理委託契約書は、基本的知識から正解できる問題もあったが、現場思考が要求される問題や個数問題も多く、また、初見の法令もあり、解きにくかったものと思われる。

会計は、3問出題され、仕訳だけでなく、貸借対照表も出題されたが、過去問を理解していれば解けたのではなかろうか。

（維持・保全）

例年に比べ、過去問からの出題が多く、解答しやすかったと思われる。ただし、簡易専用水道や建築基準法の用語の定義等の近年未出題であった過去問の論点からの出題もあったので、注意が必要である。また、長期修繕計画作成ガイドラインが3年連続で出題された。今後も出題が予想されるので注意したい。近年、問題の難易度が下がってきているので、7割程度の得点を目指したい。

（適正化法）

昨年度と比べ、個数問題は昨年より1問増え2問出題され、組合せ問題は昨年と同様2問出題された。しかし、難しい通達論点はなく、正確な知識さえあれば、比較的解答を出しやすかったと思われる。

※この講評の著作権は TAC 株式会社のものであり、無断転載・転用を禁じます。